

<別紙> 情報提供様式

①事例名																																		
副校長・教頭マネジメント支援員の活用																																		
②学校名																																		
県立八幡高等学校	連絡先 0748-33-2302																																	
③取組分野(複数選択可)																																		
☒ 副校長・教頭の負担軽減に関する取組（学校経営骨太モデル事業、副校長・教頭マネジメント支援員の活用等）																																		
④直面していた課題(取組前の様子)																																		
・教頭の時間外在校等時間について、昨年度、年度始め等の多い月で180時間程度、年平均で100時間弱と非常に多かった。教頭職1年目ということもその要因のひとつだが、本校と同規模の学校の中には2人教頭が配置されているところもあることから、事務的業務がどうしても多く存在しており、どう処理するかが課題であった。また、このことが教頭の余裕のなさにつながり、教職員への対応や校務運営へのかかわり方にも課題があった。																																		
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付																																	
・教頭マネジメント支援員1名配置。 ・主に旅行命令簿・復命書、振替簿、年次休暇簿、特別休暇願、特殊勤務実績簿の確認および整理を担当。 <u>取組のポイント</u> ・学校勤務経験がない支援員であるため、事務的業務のみの支援となった。	教頭時間外勤務総時間 <table border="1"> <caption>教頭時間外勤務総時間 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>時間外時間 R5</th> <th>時間外時間 R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>175</td><td>105</td></tr> <tr><td>5月</td><td>140</td><td>65</td></tr> <tr><td>6月</td><td>95</td><td>65</td></tr> <tr><td>7月</td><td>95</td><td>75</td></tr> <tr><td>8月</td><td>45</td><td>45</td></tr> <tr><td>9月</td><td>100</td><td>65</td></tr> <tr><td>10月</td><td>75</td><td>55</td></tr> <tr><td>11月</td><td>75</td><td>65</td></tr> <tr><td>12月</td><td>65</td><td>55</td></tr> <tr><td>1月</td><td>95</td><td>60</td></tr> </tbody> </table>	月	時間外時間 R5	時間外時間 R6	4月	175	105	5月	140	65	6月	95	65	7月	95	75	8月	45	45	9月	100	65	10月	75	55	11月	75	65	12月	65	55	1月	95	60
月	時間外時間 R5	時間外時間 R6																																
4月	175	105																																
5月	140	65																																
6月	95	65																																
7月	95	75																																
8月	45	45																																
9月	100	65																																
10月	75	55																																
11月	75	65																																
12月	65	55																																
1月	95	60																																
⑦ 取組の成果																																		
・諸帳簿の整理を支援員に任せたことから、当然その分の教頭の時間外在校等時間が減少した。 ・教頭が教員と正対する時間が増えたことから、教員の心身の変化に気づくことが増えた。生徒とかかわる時間も増加した。 <u>成果のポイント</u> ・8クラス規模の学校であるため、事務的業務のみの移行でもかなりの負担軽減となった。																																		